

2021
春夏号

家庭画報 特選

きものSalOn

きもの
サロン

草木染のひみつ

林真理子さん

真理子の部屋

東村アキコさん

常盤貴子さん
きもの旅

いまこそ、きものチカラを！

運命の

きもの

檀れいさんが行く、大和四寺
おうちきものと半幅帯
働くきもの 達人の裏技
浅田真央さんのきもの修業
IKKOさんオーラを纏う

仲間由紀恵さん
安藤優子さん
戸田菜穂さん

35歳のきものデビュー
～予算15万円からのイチオンきもの

オリジナル満載

きものSalOn

和美人百貨店

常盤貴子さん

クラシックホテルへ きもの旅

「若い頃きものは正装で着るものとして、憧れていました」

という常盤貴子さん。きもの姿で演じているうち、段々と着ていて楽なコツを覚えました。

それから旅先にもきものを持って行き、素敵な料亭に友人と出かけたり、地方の行事に招かれたときにきものを着たりと、身近な存在となりました。明治11年創業という、ノスタルジックな雰囲気、箱根「富士屋ホテル」へ、心をリフレッシュする、きもの旅を楽しみました。

撮影／笹口悦民 ヘア&メイク／黒田啓蔵 着付け／小田桐はるみ
小物スタイリング／中山薫 構成・文・きものコーディネート／相澤慶子
撮影協力／富士屋ホテル

根津美和子作「山里の春」で
ラグジュアリーなホテルを満喫

こだわりの作家きものをホテルライフで着こなすのは、とても気分のいいもの。富士屋ホテルのクラシックな雰囲気に、きもの持つラグジュアリー感がよく合います。毎年「国展」で作品を発表する、根津美和子さんの「山里の春」は、桃の枝を煮て作った染液で薄香色に染めた糸で織りあげたもの。地を市松に織った中に、蘇芳色と常磐色に染めた緋糸で鋸歯文様をデザインした端正なきもの。大きく牡丹を織りだした素材感のある帯で装いました。きもの／姫路 えり新 帯／豊中 織元 帯揚げ／和小物 さくら 帯締め／道明 髪飾り／かづら 清老舗 リング25万7000円/TASAKI



海老川



上質なスーツのように
知的な印象を放つ
モノトーンの熨斗目

グレーと白のミニマルな配色ですが、糸の光沢が熨斗目文様をさりげなく強調することで、そこはかたない気品や華やきを感じさせる一枚、樹高高尾の越金綴錦「蜀村雲花菱文」の薄紫の花が、きものをより華やかに仕上げます。きもの・帯/ともに豊中・織元 帯揚げ/和小物さくら 帯締め/道明 扇子/井澤屋 リング30万8000円/TASAKI バッグ43万円/ディオール(クリスチャン ディオール) 草履/銀座ぜん屋本店

031

プレゼンやスピーチ、
注目を浴びるシーンで映える艶やかな色彩

市松文様を織り出しながら、渋木や刈安などで染めた白茶色、黄色、緑、紫の濃淡を横段に配したきもの。大胆な配色ながらも、端正に見えるのは熨斗目ならではの趣といえます。シックな色合いの連珠文の帯で、装いを引き締めながらさらなる品格をプラス。きもの(浅岡明美作)・帯/ともに豊中・織元 帯締め/道明

着るだけで心強いお守りに

フォーチュンきもの

色や文様の中にささやかな願いを込めたり、着ることで気持ちのスイッチを切り替えたり。きものには、洋服とはまた違った特別なパワーが秘められているのではないのでしょうか。古典的な吉祥文様だけではなく、知性や今とさらさらも加味した新解釈の開運きものを集めました。



誰が袖の意匠で、豊かな幸せを教養高く雅やかに表現

衣桁に掛けられた豪華な小袖の文様は、「誰が袖」と呼ばれて桃山時代から江戸時代にかけて屏風などの図案に用いられてきました。四季の草花や宝尽くしなどが精緻に描かれた小袖は、衣装持ちなやんごとなき女性を想起させ、豊かさの象徴とも解釈されます。訪問着のような格を持つ付け下げなので、帯には漆箔をあしらった正倉院御物の図案に取材した、格調高い一本を合わせました。きもの・帯／ともに豊中・織元 帯揚げ／和小物さくら 帯締め／道明 扇子／井澤屋 バッグ220万円／モラビト(モラビト ジャポン) 草履／銀座ぜん屋本店

鎧坂の静謐に佇む



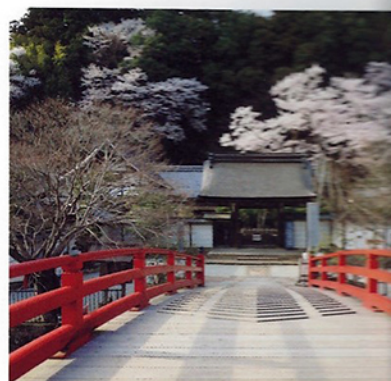
室生寺の本尊・如意輪観音菩薩。鎧坂を登り、金堂を右手に見てその奥に本堂があります。厨子の中に穏やかな表情を見せる仏が鎮まっています。櫃の一本造りの優しい表情の仏様です。

深山幽谷の修行道場として開かれた室生寺は、人を寄せ付けない厳しさがあるかにもえませんが、山懐にいだかれた境内には、不思議と包み込まれるようなやさしさも感じられます。

白洲正子も愛した十一面観音菩薩立像は、金堂中尊の伝・釈迦如来立像の脇侍としてつくられました。だが、柔らかな肉身とさざ波の立つような衣文は、慈愛にあふれる仏の理想的な姿を表しています。

稲垣稔次郎デザインの型絵染め霞文様が境内の石楠花に映えて仁王門を抜けると石組みの鎧坂が現れ、室生山の麓から、中腹に伽藍が点在しています。人間国宝・稲垣稔次郎作の霞の小紋で緑の空間に馴染みます。空色を地色に、霞を糊の白上がりで染め、際に墨を暈した繊細な染め技の霞の小紋で室生寺の深遠な空間に佇みます。きもの・帯／豊中・織元帯揚げ／和小物さくら 帯締め／道明

門前町から室生川架かる大鼓橋を渡ると、室生寺の境内です。正面は本坊、右に石楠花に彩られた伽藍が現れます。



石段の両側に石楠花が咲く、鎧坂。上がったところに金堂があり、印象的な中尊・釈迦如来立像が祀られています。

どんな草履を合わせたらよいですか？

フォーマルなシーンでは、きもの装いと同様

に草履も白や淡い色で、高めの台がおすすめです。

鼻緒も金糸・銀糸など光沢のある素材を使った

ものや織の素材を選ぶと、華やかで品のある格

調高い着こなしになります。

古典的なお祝いモチーフをモダンに

吉祥文様の多い古典柄は、季節を選ばず、お祝いの場に最適の一枚。
洋の気配を含んだ色や柄を合わせると、現代的な着こなしが完成します。



柏

【かしわ】

端午の節句にも用いる柏で
健やかな成長の祈りを表現

吹くまで古い葉が落ちない柏は、子孫繁栄
を、端午の節句でも用いられる吉祥文様。押
本金箔がクールに輝く間道の帯を合わせ、
お母にも最適な装いに。きもの地32万円・帯地
帯揚げ・帯締め/すべてきもの工芸 大黒屋



七宝

【しっぽう】

存在感のあるオリエンタルな帯
軽やかな七宝柄ですっきりと

涼しげな水色に七宝柄が飛んでいる軽やかな付け
下げです。きものや帯に使われている一色から淡
い色の小物を選ぶと、更紗調の袋帯が映える、品
のよい着こなしに。きもの地33万円・帯地37万円
帯揚げ・帯締め/すべて豊中・織元



裏白

【うらじろ】

煌めく裏白が浮遊する御召に
欧風調の帯を合わせ華やかに

お正月飾りに用いる縁起のよい裏白の文様が、白い
暈しの上に浮かび上がる御召。草花を西洋の紋章
のように表した相良刺繍の名古屋帯を合わせて、華
やかな装いに。きもの地18万円・帯地 参考商品・帯
揚げ・帯締め/すべて弓月京店